

火の魂の仲間たち、いつも本当にありがとう。

今年も残すところ1か月を切りました。

私は、毎年この季節になると、一年という時間の短さに焦る気持ちと、来年に向けての気持ちが高鳴る季節でもあります。

とはいえ、今年もまだ終わったわけではないので、目の前のことを全力でやり切って、良い年を迎えていきたいと思います。

さて今月の社長からの手紙は先日出張で金沢に行ったときに仲間から聞いた「夢の見つけ方」について書いてみようと思います。

皆さんは夢を持っていますか？ 将来の夢や理想の未来を夢として持っていますか？という問いに夢を持っている人は意外と少ないと思う。

とは言え、私も30歳過ぎまで夢を持っていませんでしたが・・・

実は夢というのは見つけるものではなく、気が付くものであるのです。

見つけようとすればするほど、夢は見つからないもので、ふと気が付いたときに「これが私の夢なんだ！」と分かるものだと思えます。

夢が見つかる人の条件は、「今与えられていることに全力でやりきることのできる人」なのです。今与えられている役割を全力でやりきることができる人は、目の前の与えられた事に、いつでも無我夢中になる人です。

仕事でもそうです。目の前の与えられた仕事を中途半端にやる人は、自分の出した結果に対して不満や言い訳ばかりで、一生懸命やる人は自分の出した結果に対し知恵と経験が付き成長し、出来るようになるために自分のやるべきことに無我夢中になっていくものです。

この「無我夢中」になることが、夢に気が付くために一番大切なことで、夢中でやっていると必ず気が付くことがあります。それは目の前のことに我を忘れるくらい夢中になる時に、今自分自身が夢を追っている真っ只中にいるということです。無我という字の意味は目の前の事に心を奪われ我を忘れることであり、夢中という意味は集中して夢の中に入るという意味です。目の前の与えられたことに、全力で取り組み我を忘れるくらい目標にコミットする。その中から見える理想が夢になり、人生が輝くほど楽しく生きがいになり、魅力的なカッコいい大人になれるのです。

目の前の与えられた事に目標を持ち、目標を達成する為に無我夢中になる。甲子園球児が甲子園での勝利を夢にするのは、目標に向かい目の前の練習を無我夢中でやるからなのです。「目の前の与えられた事」に「目標を持ち」無我夢中になった時に夢が実感できるのです。